

画像診断講演会のご案内

2016年1月15日

このたび、北海道の画像診断の実情や将来について、より良く知って頂くために講演会を企画いたしました。下記のとおり開催しますので、ご案内申し上げます。

— 記 —

日	時	2016年2月9日(火)	18:30~19:30頃
場	所	北海道大学病院地下 MRI カンファレンス室 北海道札幌市北区北14条西5丁目 Tel:011-706-5977	
司	会	工藤 與亮 (北海道大学)	
会	費	無料	
演	者	藤間 憲幸先生 (北海道大学)	
演	題	北海道の画像診断について	

講演会終了後に懇親会を用意しております、奮ってご参加下さい



主催：特定非営利活動法人メディカルイメージラボ

画像診断講演会 報告書

2016年2月11日

- 参加者一覧

【北海道大学放射線医学講座】

白土 博樹

【北海道大学病院放射線診断科】

工藤 與亮、真鍋 徳子、加藤 扶美、藤間 憲幸、藪崎 哲史、坂本 啓太、
原田 太以佑、中川 純一、長江 伸樹、山口 晃典、常田 慧徳

【市立札幌病院 放射線診断科】

高橋 文也、加藤 大貴

【北海道大学医学部医学科 6年】

伊藤 智樹、遠藤 愛、金谷 本真、志藤 元泰、竹中 淳規
松永 章宏、水井 大介、原嶋 十考

計 23 名

- 内容報告

北海道における放射線診断医の現状および画像診断の仕事の内容について講演があった。画像診断は学生実習だけでは必要性や業務内容などについて理解することが難しく、今回の講演を通して、業務内容や専門医制度だけでなく、研究や生活面など様々な点について学ぶ交流の機会となった。画像診断に興味を持つ学生が、将来放射線診断医として北海道の医療に貢献できるような将来展望についても意見交換がなされた。

- 添付資料：講演会スライド(一部)



北海道の 画像診断について

2016/02/09 北大MRIカンファ室

答え;放射線診断医は足りない!

Jpn J Radiol (2015) 33:266–272
DOI 10.1007/s11604-015-0413-6



ORIGINAL ARTICLE

※放射線科医ってどれくらい必要なの?という論文

**Current radiologist workload and the shortages in Japan:
how many full-time radiologists are required?**

Akihiro Nishie¹ · Daisuke Kakihara¹ · Takeshi Nojo² · Katsumasa Nakamura¹ ·
Sachio Kuribayashi³ · Masumi Kadoya⁴ · Kuni Ohtomo⁵ · Kazuro Sugimura⁶ ·
Hiroshi Honda¹

medical care [1]. At least 2.09 times more diagnostic radiologists are needed to cover CT and MR imaging examinations in Japan, and even more radiologists are needed to cover other studies. The number of radiation oncologists is

国際雑誌; Japanese Journal of Radiologyより